

研究機関：広島大学

研究課題名	大～広範囲腱板断裂に対して筋前進術を併用した鏡視下腱板修復術の術後成績
研究責任者名	広島大学病院 整形外科学 助教 横矢 晋
研究期間	平成 28 年 1 月 27 日(倫理委員会承認後) ～平成 30 年 3 月
対象者	平成 22 年 4 月から平成 27 年 12 月の間に、広島大学病院整形外科で肩腱板断裂と診断されて鏡視下手術を受けた患者のうち、断裂サイズが大断裂以上と診断された患者。
意義・目的	サイズの比較的小さい肩腱板断裂に対する鏡視下修復術の効果については、現在有効であることが明らかになっていますが、サイズの大きい腱板断裂については再断裂する確率が高いことが報告されており、これにより術後臨床成績が劣ることが報告されています。そこで、我々は断裂サイズの大きい腱板断裂に対しまして、肩甲骨から腱板構成筋をはがして外側に引き出して修復する筋前進術を併用した鏡視下腱板修復術を行っております。今回この手術の有効性を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、術前後の可動域および筋力、また診療において算出した術前後の臨床スコア、そして MRI により測定した術前の断裂サイズおよび術後の修復状態です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5233 広島大学病院 整形外科 職名 助教 横矢 晋